

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 木下隆史

1. 概要

| | |
|-------|---------------------|
| 歩行名称 | 東関東ブロック |
| 歩行区間 | スタート地点：蓮沼南浜(南浜海水浴場) |
| | ゴール地点：千葉県旭市 飯岡灯台バス停 |
| 実施期間 | 2025年12月6日～12月7日 |
| 全歩行距離 | 28km |

2. メンバー表

| No. | 役割・分担 | 氏名 | 年齢 | 歩行日数 | 備考 |
|-----|---------|-------|----|------|------------|
| 1 | リーダー/記録 | 木下 隆史 | 67 | 2 | TMUVWOB24期 |
| 2 | サブリーダー | 横山 泰一 | 80 | 2 | TMUWVOB13期 |
| 3 | | 藤元 利章 | 67 | 2 | TMUWVOB24期 |

3. 歩行の概要

| | 月日 | 出発地 ～ 到着地 | 歩行距離 | 歩行参加者 | 備考 |
|---|------|----------------------------|------|-------|----|
| 1 | 12/6 | 蓮沼南浜～九十九里浜自然公園～今泉海水浴場～民宿岩沢 | 12km | 3名全員 | |
| 2 | 12/7 | 民宿岩沢～飯岡灯台バス停～JR旭駅 | 18km | 3名全員 | |

4. 費用概算

合計 16800 円

- 交通費(東京駅からの場合) 計 7822 円
 - 内訳: 往路 東京駅(総武本線)→JR成東駅 1342 円
 - 成東駅(タクシー)→蓮沼南浜 4400 円
 - 復路 JR旭駅(JR外房線)→東京駅 1980 円
 - 飯岡灯台(コミュニティーバス)→JR旭駅 100 円
- 宿泊費(1泊2食付き1泊) 民宿岩沢(飲酒込み) 8250 円/人
- 飲食費等(昼食代を除く)
 - 打ち上げ飲食費 約 700 円位/人

5. 歩行地域の概要 ～歩行ルート地図(Google Map より)

【第一日目】



【第二日目】MAP



7. 行動記録

【12月6日(土)】天気 晴れ

10:20 JR 成東に集合。コミュニティーバスが 10:40 に着くまで待てず、タクシーで歩行出発地の蓮沼海浜公園の南浜まで向かう。2000 円前後かと思ったが、4400 円かかってしまった。海岸線沿いの県道にコンビニがあると思っていたが、運転手さんに聞くとないとのこと。途中、最後と言われたコンビニで水を購入。

南浜の駐車場で下車、2023 年 12 月出発地点の海岸まで歩く。各自、準備運動をする。

11:00 蓮沼南浜の海岸から歩行開始。天気は快晴、無風と絶好の散歩日和。砂浜は、適度に締まっていて歩きやすく、気持ちが良い。波の音も心地よく響く。



蓮沼南浜 歩行開始地点



砂浜を歩く

12:30 とん亭九十九に到着。昼食をとる。それほど待たずに席に着けた。かつ丼や揚げ物系の定食が多い。

13:00 発。再び砂浜をひたすら歩く。



とん亭九十九で昼食



釣り人

14:05 成田山御本尊 上陸の地着。平安時代中期、平将門の乱によって世の中が不安と混乱の中にあることを憂え、真言宗の僧侶・寛朝(かんちょう)が乱を鎮める祈祷のため、京都にあった不動明王像を関東へ持ち込んだ場所。その不動明王像は、現在では真言宗大本山の1つ成田山勝山寺の本尊となっているとのこと。1960年、寛朝の功績を称え海岸の敷地内に上陸記念碑が建てられた。(「ちば観光ナビ」による)



入口の鳥居



不動明王像

14:20 発。ここからは、砂浜が狭くなり堤防上を歩くことが多い。九十九里浜では、“はまぐり”が名産のようで、途中にポンプ小屋が。自動車で管理している人がいたので聞いてみると、海から海水をポンプで送水して、採った“はまぐり”の水槽に入れ、全国に発送しているとのこと。

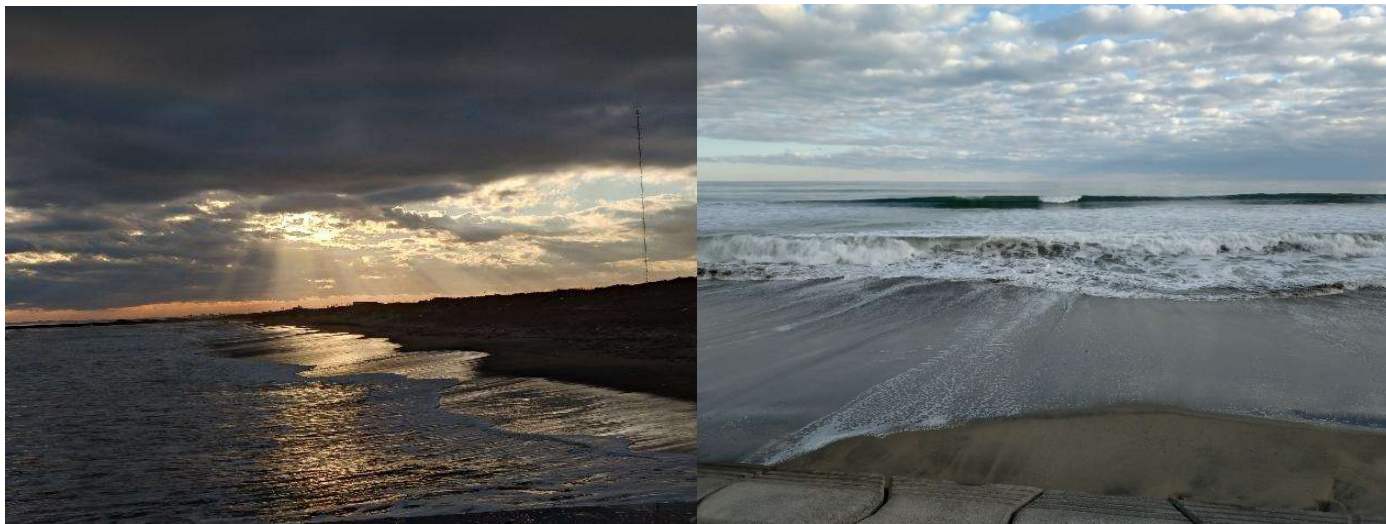


堤防上を歩く



海水送水のポンプ小屋

やや、雲が多くなるが、若干の風。波は荒くなってきた。16:10 民宿岩沢着

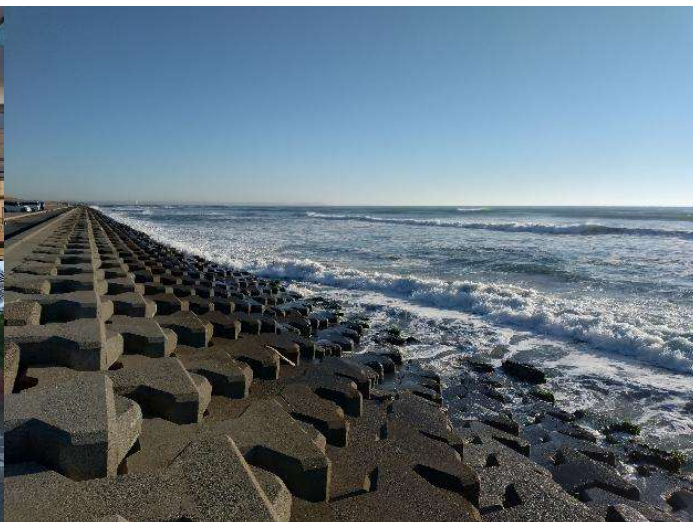


【12月7日(日)】天気 晴れ

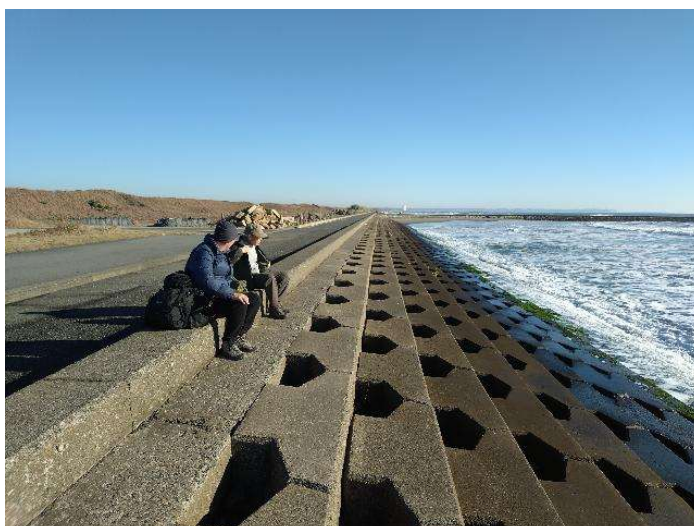
8:00 民宿出発。さすがに、この時期空気は冷たいが、風はなし。砂浜がなくて堤防沿いを歩く。サーフィン用のサイトが多くあり、サーファーで賑わっている。



民宿岩沢前



砂浜がなく堤防上を歩く



堤防の上で休憩中



サーファーが車で集まる場所

出会った元漁師さんと少し立ち話。離岸堤や突堤ができてから魚がほとんど獲れなくなり、漁師を続けられなくなってしまったとのこと。海岸侵食を防ぐために良かれと思った対策が、思わぬ結果に。



再び、砂浜が広がり、穏やかな砂浜歩行。ゴールの刑部岬、飯岡灯台を目指す。



砂浜は穏やか



目指す飯岡灯台は高台の上

コミュニティーバスに間に合うことを意識して 13:05 になんとかゴールの飯岡灯台着。バスは、13:40 発なので、展望台ですこし休めた。

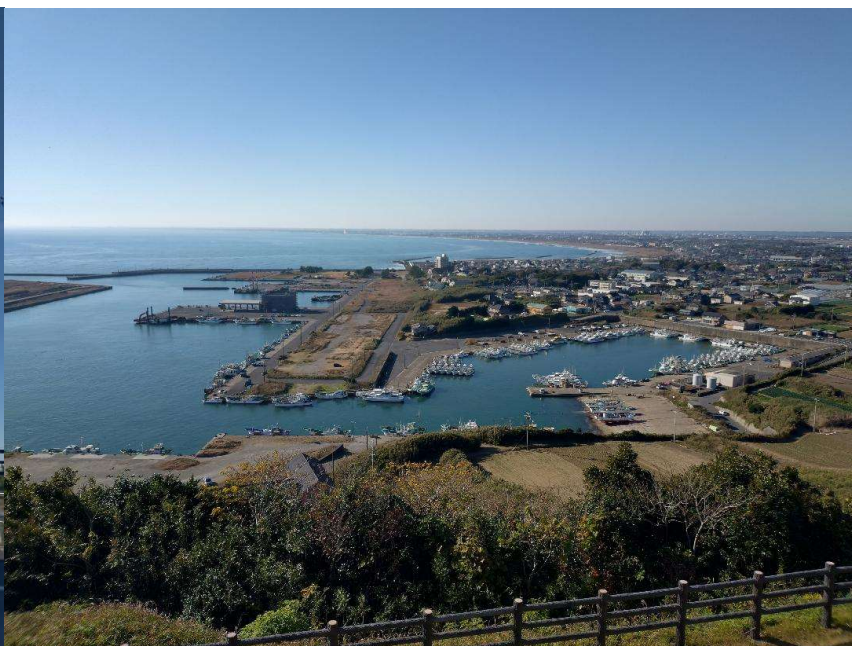


刑部岬 希望の鐘 東日本大震災からの復興を祈念して

展望台からは、今回歩いてきた海岸線が一望できる。この刑部岬からなんと飯岡灯台着。ここからの眺望は、「日本の夜景 100 選」「関東の富士見百景」「ちば眺望 100 景」など選ばれている。



飯岡灯台



展望台からの眺望

13:40 コミュニティーバスで JR 旭駅 14:25 頃着。2023 年歩行の時に打ち上げに使った中華料理店に入った。おばあさんが一人でやっていて、電車の時間が迫っていたので、ラーメンだけ食べて帰りの電車に乗った。

2日間とも天気に恵まれて、気持ちよく歩くことができました。午後には少し雲が出ましたが、風は弱く、歩くにはちょうどいいコンディションでした。

特に1日目は砂浜を歩く時間が長く、波の音を聞きながらゆっくり海岸線を楽しめました。

そして今回の行程で、千倉駅から犬吠埼まで、千葉県の大東海岸がつながりました。“歩いた実感”が感じられ、達成感もひとしおです。

以上